

火災

あなたと大切な家族の

から命を守る

火災による死者の多くは高齢者が占めています。

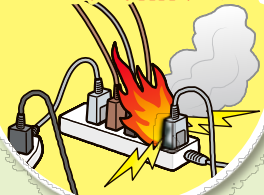
火の元の管理などの対策を行い、
火災を未然に防ぎましょう！

主な出火原因と対策



電気器具は正しく使い、
たこ足配線はしない

電気器具



こんろ点火中は
その場から離れない。

こんろ



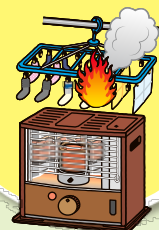
放火



家のまわりに燃えやすい
ものを置かない

子供には、マッチや
ライターで遊ばせない

石油ストーブ



ストーブには、燃えやすい
ものを近づけない

電気ストーブ



たばこ



寝たばこやたばこの
投げ捨てをしない

火遊び



名古屋市消防局

命を守るために「今」できること



住宅用火災警報器を設置する。

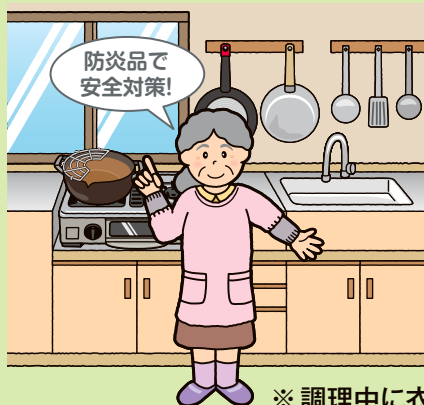


火災を早く発見するために

寝室、寝室のある階の階段、台所に設置が必要です。
住宅用火災警報器により、火災を早く発見し、火災を未然に防ぐだけでなく、隣近所への燃え移りを防ぐこともできます。必要な場所への住宅用火災警報器の設置と、設置されているご家庭は定期的に作動確認を行い、音が鳴らない場合は機器を交換するなど、適切な管理・交換をよろしくお願いします。



防災品を使用する。



火災を拡大させないために

寝具や衣類など、火が着いても燃え広がりにくいので安全です。

防災品のお問合せ先

日本防災協会
名古屋事務所
Tel 052-321-4344
(購入もできます。)



防災カーテン



防災じゅうたん

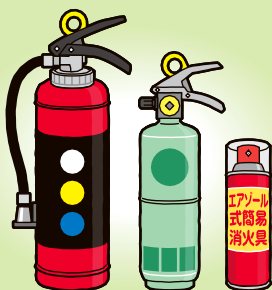


防災ふとん

※ 調理中に衣服に火が燃え移り、お亡くなりになるという痛ましい事案も発生しています。



住宅用消火器等を設置する。

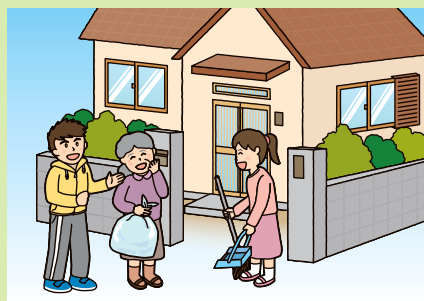


火災を早く消すために

小型で軽く、取扱いが簡単な住宅専用の消火器や、片手で素早く使えるスプレー式で、天ぷら油などの火災に威力を発揮するエアゾール式簡易消火具を備えておくと、いざという時に役立ちます。



隣近所の協力体制をつくる。



火災からまちを守るために

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識をもって、隣近所で声をかけ合うなど地域ぐるみで「放火されない環境づくり」に努めることが放火対策の重要なポイントです。